

国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科 研修説明会

国府台病院児童精神科は、児童精神科医になるための当院における研修プログラム等の説明会を開催いたします。すでに精神科で勤務・研修されてきた方を中心に他科からも歓迎しており、精神科経験のない場合など、必要に応じて当院で精神科研修を行うことも可能です。

新専門医制度に関しては、精神科部門全体で研修基幹病院として制度に合致したプログラムを準備しています。平成31年度後期研修医（レジデント）を希望される方は、ぜひご参加下さい。

1

独立した診療科

独立した診療科であり、子どもの診療のみに集中することができます。新患患者は年間600名名ほどです。

2

専門病棟

児童精神科専門病棟（精神科開放病棟）にて、診療のみに集中することができます。

3

豊富な経験

日本児童青年精神医学会認定医の取得に必要な症例を経験でき、臨床研究及び国内外での学会発表も可能です。



ナショナルセンター
国立高度医療研究センターとして人材教育と臨床研究にも重点を置いております



歴史ある診療科
児童精神科病棟については、昭和23年からある歴史ある診療科です。



自然の中で
児童精神科は自然に囲まれた環境の中で、疾患の治療だけでなく、子どもたちの心を成長させていくことを目指しています。

代表

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター国府台病院
児童精神科診療科長 宇佐美政英

連絡先

事務部管理課 庶務係長 電話:047-372-3501

Email:ka0118yamagata@hospk.ncgm.go.jp

QRコードもしくは国府台病院のホームページより申し込みフォームにアクセスし、ご記入ください。また、証明書の写し（学生証等）もメールにてお送りください。メールタイトルを「児童精神科レジデント説明会申込み（申込者氏名）」として下さい。締め切りは7月17日です。



<概要>

児童精神科研修コースは、子どもの心の診療の中核を担う児童精神科医として各地で独立した活動ができることを目標に、児童思春期精神科医療の基本的な知識をバランスよく学習し、実践的な臨床医としての診療技能を習得する機会を提供しています。

本コースは、原則として2年以上の一般精神科後期研修（いずれの医療機関でも可）を修了した医師を対象とするコースで、研修期間は原則3年である。本コースの研修プログラムは、外来並びに入院症例の主治医として診断・治療経験を積むことを基本とし、そのほかに講義、症例検討会、個別事例のスーパービジョン、思春期デイケアを含む集団療法や心理教育プログラムでの副治療者経験、プレイセラピーの治療者経験などから構成されています。地域の関連専門機関（児童相談所や教育センター等）での嘱託医経験を通して地域連携の感覚と技能を学ぶことも重要なプログラムの一つとしています。また、当院児童精神科部門で行っている各種の臨床研究への参加を義務づけるとともに、国内外の学会や研究会での発表を積極的に奨励しています。

なお、当院で精神科医としての研修を希望される方には、平成30年よりスタートした専門医制度にも対応予定であり、成人部門での精神科専門医取得コースもあります。

【対象】 児童精神科医を志す医師

【日時】 令和元年7月24日 9時30分

児童精神科外来集合

【見学プログラム】

10:00 開会の挨拶

10:10 アイスブレイキング

10:20 国府台病院児童精神科について

11:00 子どもの心の診療について

11:30 研修体制について

12:00 お昼休み

13:00 病棟ミーティングの体験

14:00 病棟院内学級見学

15:00 子どもたちと水遊び

16:00 現レジデントと語る会

17:00 総括と閉会の挨拶

すべてのプログラムの終了後に懇親会を予定しております。

